（様式2） 実行計画管理シート

事業名	124-2	枚方市駅周辺再整備ビジョン推進事業	部・課	土木部　土木総務課

総合計画との関係	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
	施策目標等		18　人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち
	（関連施策目標等）		
	（関連施策目標等）		
	4つの重点的に進める施策との関係		4　人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる
総合戦略との関係	基本目標		1　産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める
	施策目標		5　人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明	○	枚方市駅周辺再整備では、これまで検討を行ってきた枚方市駅周辺再整備ビジョンを早期に具体化し、再整備の道筋を確実なものとする。新庁舎の整備については、官公庁団地エリアで国・府・市による庁舎の一体的整備に向けて、民間施設との合築も含めた検討を行い、市民生活を総合的にサポートする拠点の新たな形を示し、その実現に向け取り組みを進める。さらに、現在の市民会館や庁舎敷地などで民間活力の導入を見据えた魅力ある商業施設やホテル、高層マンションの誘致など、賑わいを取り戻すための検討を行う。
	2016(H28)年度市政運営方針	○	枚方市駅周辺の交通環境の改善に向け、天野川に沿った新たな外周道路の整備や北口から総合文化施設へのアクセス道路となる歩道の拡幅、高架下道路を活用したバスを中心とした公共交通の環境改善に向けた取り組みに着手する。また、まちの将来像を見据え、大阪府住宅供給公社枚方団地や京阪電鉄枚方事務所、旧長崎屋枚方店を含む街区については、駅前広場の拡充や防災面などにすぐれた魅力あるまちづくりを一体的に、かつ、できる限り早期に進めるため、市民・事業者等の理解をさらに深めながら市街地再開発事業の事業化に向け取り組むとともに、平成30年度を目標に都市計画決定をめざす。併せて、旧三越枚方店を含む街区については、市民・事業者と連携・協力しながら、駅前広場の拡充や賑わいの創出につながる土地利用の具体化に向け取り組みを進める。特に官公庁団地を含む街区においては、公的ストックの活用モデルとなるよう、国や大阪府と連携・協力しながら、民間施設を含む庁舎の一体的整備に向けて、財政負担の軽減などさまざまな角度から効率的・効果的な整備手法を検討する。現市民会館の跡地を含む街区への民間活力導入を検討し、魅力ある商業施設やホテル、高層マンションの誘致を働きかける。これら枚方市駅周辺再整備を全体的かつ円滑に推進していくためには、市民・事業者等をはじめ多様な主体との協働が必要であり、そのため、現在、北大阪商工会議所と協力して取り組んでいる枚方市駅周辺活性化検討準備会を発展させるなど、新たな協議会組織の立ち上げを進める。併せて、庁内体制の強化を図るため、戦略監を枚方市駅周辺再整備の総合調整担当に位置づける。
	2017(H29)年度市政運営方針	○	枚方市駅周辺の交通環境の改善については、引き続き、天野川に沿った新たな外周道路の整備や枚方市駅北口から(仮称)総合文化芸術センターへの歩行者動線の整備、駅高架下道路を活用したバスを中心とする公共交通の環境改善に向けた検討を進めます。
	2018(H30)年度市政運営方針		

事業概要 （目的・内容等）	枚方市駅周辺地域が、本市の中心市街地として魅力あふれる賑わいのあるまちとなるよう地域に関わる方々と連携を図りながら、枚方市駅周辺再整備ビジョンの実現に向けた取り組みを進める。 【拡充】 　第1期実行計画として交通環境の改善に向けた取り組みを進める。 ・外周道路（京都守口線～枚方藤阪線） ・歩行者動線（北口～新町2丁目地区） ・京阪枚方市駅の高架下利用

取り組み状況

これまでの取り組み状況	・枚方市駅周辺再整備ビジョン対象エリアの土地利用や事業手法等の検討を行い、これらと並行して地元検討組織等の設立に向けた支援や関係権利者等との意見交換を行った。また、枚方市駅北口・南口駅前広場の拡充、外周道路の整備、歩行者動線の整備についての概略検討を行った。 ・本ビジョン対象エリアに設定した各街区の内、官公庁団地が含まれる街区については、国・府・市による連絡会議を設置し、大阪府住宅供給公社・京阪電鉄・旧長崎屋が含まれる街区については権利者等との検討協議会を設置した。ひらかたサンプラザビルが含まれる街区については地元検討組織が設立され、旧三越が含まれる街区については、権利者の合意形成に向け継続的に意見交換を行っている。また、北大阪商工会議所が設置した枚方市駅周辺の活性化検討組織にも参画している。

2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・枚方市駅周辺の交通基盤整備に向けた取り組みを実施（詳細設計、各関係機関協議、社会実験など） ①外周道路（京都守口線～枚方藤阪線） ②歩行者動線（北口～新町2丁目地区） ③京阪枚方市駅の高架下利用
	実績（評価）	枚方市駅周辺の交通基盤整備に向けた取り組みとして、詳細設計及び用地測量、各関係機関協議、歩道の拡幅等の道路空間再配分を見据えた社会実験などを実施
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	・枚方市駅周辺の交通基盤整備に向けた取り組みを実施（詳細設計及び用地測量、各関係機関協議など） ①外周道路（京都守口線～枚方藤阪線） ②歩行者動線（北口～新町2丁目地区） ③京阪枚方市駅の高架下利用
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	・枚方市駅周辺の交通基盤整備に向けた取り組みを実施（用地取得、各関係機関協議など） ①外周道路（京都守口線～枚方藤阪線） ②歩行者動線（北口～新町2丁目地区） ③京阪枚方市駅の高架下利用
	実績（評価）	
2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	・枚方市駅周辺の交通基盤整備に向けた取り組みを実施（工事） ②歩行者動線（北口～新町2丁目地区）
	実績（評価）	
備考		

課題	・本事業の実施にあたり、社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業など）の活用を検討（ただし、再開発事業との連動の必要性有。） ・（仮称）総合文化芸術センター整備時期との調整 ・交通管理者や交通事業者、道路及び河川管理者など各関係機関との調整		
今後の対応	・（仮称）総合文化芸術センターの供用に向けた取り組みとして、①②③の整備を着実に推進 ・①河川管理者及び交通管理者、道路管理者との協議を確実に行い、また、地元住民、地権者との合意形成を図る ・②交通管理者、道路管理者との協議を確実に行い、また、国庫補助制度の適正な運用に努める ・③交通管理者、交通事業者との協議を確実に行い、また、当該箇所の適正な管理、運営方法を検討する		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(H31)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 224,000 千円 （建設経費 194,000 千円 ， 用地費 30,000 千円 ）